

特別勘定（世界分散型40AF（02）/世界分散型20AF（02））

四半期運用実績レポート

2010年1月～2010年3月

 STATE STREET
 GLOBAL ADVISORS | 
【利用する投資信託の委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。母体であるステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統を有する金融機関であり、卓越した財務内容と高い信用力を有しています。最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

- ・アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)終身D3型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

変額個人年金保険(07)終身D3型

特別勘定の四半期運用実績レポート(2010年1月~2010年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型」のリスク及び諸費用についてを8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が作成した運用環境をアクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2010年1月~2010年3月]

【日本株式市場】

国内株式市場は、ギリシャの財政赤字懸念拡大などの外部要因を受けて下落したものの、後半は日銀による追加金融緩和策に関する報道などをきっかけに大幅反発となりました。1月は、好調な海外の経済指標を好感して堅調にスタートしたものの、1月後半は、中国の預金準備率引き上げや米国における新たな金融規制案などを嫌気して下落に転じました。さらに2月には、ギリシャをはじめとする一部欧州諸国の財政赤字懸念を受けて一段の下落となりました。しかし、3月に入ると、日銀による追加的な金融緩和策の報道や、米雇用統計など国内外の経済指標の改善をきっかけに投資家心理が改善し、反発に転じました。業種別では、中国など新興国需要の拡大期待などから「海運業」(前四半期比+35.08%)が最も上昇した一方、上場廃止が決定したJAL急落の影響などにより「空運業」(前四半期比▲15.52%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

海外株式市場は、ギリシャの財政赤字懸念の拡大などを背景に前半は下落基調となりましたが、後半はユーロ圏諸国によるギリシャ支援の発表などをきっかけに反発し、堅調に推移しました。米国株式市場は、堅調に始まったものの、中国の預金準備率引き上げや米国における新たな金融規制案、さらにギリシャの財政赤字懸念の拡大を受けて2月中旬まで下落基調となりました。その後、ユーロ圏諸国によるギリシャ支援が発表されると株価は反発に転じ、3月に入っても雇用統計の改善や米連邦公開市場委員会(FOMC)による緩和の金融政策の継続が好感され、期末にかけて堅調に推移しました。欧州株式市場は、ギリシャの財政赤字懸念の拡大などを背景に前半は下落基調となりましたが、ユーロ圏諸国によるギリシャ支援が公式に発表されたことなどをきっかけに反発に転じ、さらに、米国の低金利政策継続なども好感されて後半は上昇基調を継続しました。アジア市場は、中国の金融政策修正の動きやギリシャの財政赤字問題などの悪材料を受けて一時大幅な下落となりましたが、2月中旬以降は、ユーロ圏諸国によるギリシャ支援の発表などをきっかけに上昇に転じ、期末まで堅調に推移しました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、前半は、消費者物価指数やGDPデフレ率などインフレ指標が引き続き低下したものの、実質GDP成長率が事前予想を大きく上回る結果となるなど、一部の経済指標に堅調さが見られると方向感に欠ける展開となりました。後半には、日銀が新型オペによる資金供給量を増額させ短期ゾーンの利回り低下圧力につながったものの、政府の月例経済報告において景気判断が8ヶ月ぶりに上方修正されたことが長期ゾーンの債券の売り材料となりました。日本の10年国債利回りは前期末から+0.105%上昇の1.400%となりました。無担保コール翌日物は前期末から▲0.012%低下の0.082%となりました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、前半は、雇用統計や住宅関連指標など弱みとなる経済指標が相次いだことが債券の買い材料となりました。一方、後半には、個人消費の拡大など堅調な経済指標が発表された中、米連邦準備理事会(FRB)が公定歩合を引き上げたことが債券利回りの上昇圧力となりました。結果として米国10年債利回りは前期末から▲0.011%低下の3.826%となりました。欧州市場は、ギリシャ救済の具体的な方向性が見えないことに加え、ポルトガル国債が格下げとなると、域内で相対的に安全と見られる独逸国債が選好される展開となりました。英国市場は、独逸国債に連動して利回りが低下となったものの、英中銀金融政策委員会(MPC)議事録から量的緩和策としての資産買取プログラムの終了が全会一致で決定したことが判明すると、債券利回りが一時上昇しました。独10年国債利回りは前期末から▲0.295%低下の3.092%、英10年国債利回りは▲0.076%低下の3.939%となりました。

【外国為替市場】

米ドル/円相場は、前半は、相次ぐ軟調な米経済指標を背景に米ドルが売られる展開となったものの、後半には、米国ではFRBが公定歩合の引上げを実施する一方で、日本ではインフレ指標が引き続き低下となる中、日銀が資金供給量を増額したことから日本の金融緩和策の解除期待が後退し、円が売られる展開となりました。円は対米ドルで前期末から94銭(1.02%)円安ドル高の1ドル=93円04銭となりました。ユーロ/円相場は、ポルトガル国債の格下げ実施やギリシャの財政問題に具体的な解決策が見えないことからユーロ圏の経済見通しに対する不透明感が高まり、ユーロが対米ドルで売られる展開となりました。円は対ユーロで前期末から7円08銭(5.36%)円高ユーロ安の1ユーロ=124円92銭となりました。

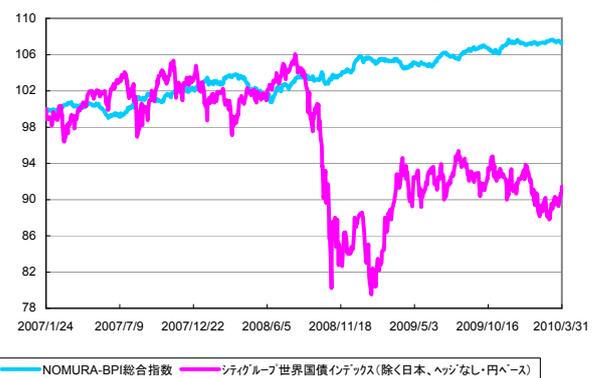
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2007年1月24日を100として指数化しています。



日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2007年1月24日を100として指数化しています。



出所:ジェネリック日本利付国債残存10年単利(ブルームバーグ)
出所:ジェネリック米国国債10年およびドイツ国債10年の利回り(ブルームバーグ)

外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【募集代理店】

株式会社新生銀行

〒100-8501 東京都千代田区内幸町2-1-8

新生銀行ホームページ <http://www.shinseibank.com>
新生パワーコール / (0120) 456-860

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命  <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 終身D3型

特別勘定の四半期運用実績レポート(2010年1月~2010年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

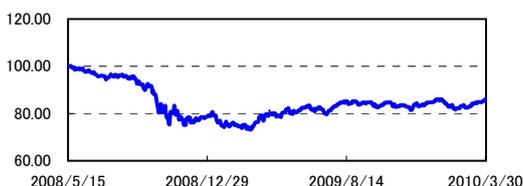
特別勘定の運用状況 [2010年3月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型40AF(O2)	<ul style="list-style-type: none"> 当ファンドは、日本株式20% (運用の指標: 東証株価指数配当込み)、日本債券30% (運用の指標: NOMURA-BPI総合指数)、外国株式20% (運用の指標: MSCIコクサイ指数(円ベース))、外国債券30% (運用の指標: シティグループ世界国債 インデックス(除く日本、円ベース))* を基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 * 外国債券については、実質的な組入外貨建資産の50% 部分について、原則として為替ヘッジを行います。
利用する投資信託	
ステート・ストリート4資産バランス40VA <適格機関投資家限定>	<ul style="list-style-type: none"> 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行います。
特別勘定名	
世界分散型20AF(O2)	<ul style="list-style-type: none"> 当ファンドは、日本株式10% (運用の指標: 東証株価指数配当込み)、日本債券40% (運用の指標: NOMURA-BPI総合指数)、外国株式10% (運用の指標: MSCIコクサイ指数(円ベース))、外国債券40% (運用の指標: シティグループ世界国債 インデックス(除く日本、円ベース)) を基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 * 外国債券については、実質的な組入外貨建資産の100%について、原則として為替ヘッジを行います。
利用する投資信託	
ステート・ストリート4資産バランス20VA <適格機関投資家限定>	<ul style="list-style-type: none"> 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行います。
特別勘定名	

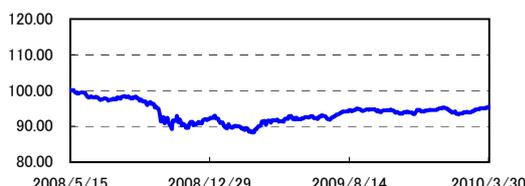
■特別勘定のユニット・プライスの推移

※ 特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。

世界分散型40AF(O2)



世界分散型20AF(O2)



・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2008年5月15日)を100.00として計算しております。

特別勘定のユニット・プライス	騰落率(%)
2010年3月末	86.20 過去1ヶ月 4.55%
2010年2月末	82.45 過去3ヶ月 1.77%
2010年1月末	82.82 過去6ヶ月 2.71%
2009年12月末	84.70 過去1年 12.08%
2009年11月末	82.09 過去3年 -
2009年10月末	83.86 設定来 ▲13.80%

特別勘定のユニット・プライス	騰落率(%)
2010年3月末	95.55 過去1ヶ月 1.84%
2010年2月末	93.83 過去3ヶ月 1.07%
2010年1月末	93.81 過去6ヶ月 1.04%
2009年12月末	94.54 過去1年 5.73%
2009年11月末	93.71 過去3年 -
2009年10月末	94.01 設定来 ▲4.45%

・実際のユニット・プライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。

・騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型40AF(O2)	
	金額(千円)	比率(%)
其他有価証券	18,709,617	99.6
現預金・その他	76,876	0.4
合計	18,786,493	100.0

項目	世界分散型20AF(O2)	
	金額(千円)	比率(%)
其他有価証券	7,471,696	99.5
現預金・その他	36,370	0.5
合計	7,508,067	100.0

・各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「其他有価証券」の項目に含まれています。

・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【募集代理店】

株式会社新生銀行

〒100-8501 東京都千代田区内幸町2-1-8
 新生銀行ホームページ <http://www.shinsei.com>
 新生パワーコール / (0120) 456-860

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 終身D3型

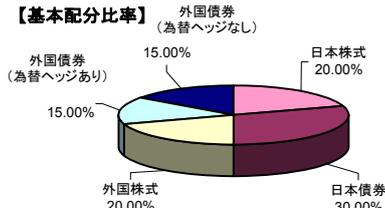
特別勘定の四半期運用実績レポート(2010年1月~2010年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型」のリスク及び諸費用についてを8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ステート・ストリート4資産バランス40VA<適格機関投資家限定>の運用状況 [2010年3月末日現在]

■ファンドの特色

【基本配分比率】



当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。

当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券: 「TOPIX(東証株価指数配当込み)」
 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券: 「NOMURA-BPI総合指数」
 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券: 「MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)」
 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券: 「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」*

*当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産の50%部分について、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」となります。

■基準価額の推移

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、ステート・ストリート4資産バランス40VA<適格機関投資家限定>の設定日(2007年1月24日)を10,000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.2625%程度(税抜0.25%程度))控除後の値です。
- 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したのとして計算しています。
- 参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)20%、NOMURA-BPI総合指数30%、MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)20%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)15%、およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)15%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2010年3月31日	前月末	前月末比
基準価額	8,664 円	8,267 円	397 円
純資産総額(百万円)	51,612	49,685	1,928

	基準価額	日付
設定来高値	10,307 円	2007年7月20日
設定来安値	7,124 円	2009年3月10日

■資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	20.00%	20.79%
日本債券	30.00%	29.25%
外国株式	20.00%	20.62%
外国債券(為替ヘッジあり)	15.00%	15.04%
外国債券(為替ヘッジなし)	15.00%	14.68%
短期金融資産	0.00%	▲0.37%
合計	100.00%	100.00%

- ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	4.80%	2.42%	4.05%	15.24%	▲12.82%	▲13.36%
参考指数	4.90%	2.55%	4.28%	15.74%	▲11.99%	▲12.43%
差	▲0.10%	▲0.13%	▲0.24%	▲0.50%	▲0.82%	▲0.93%

- ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したのとして計算しております。
- また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

■組入上位5カ国

国名	比率
日本	50.03%
アメリカ	21.48%
イギリス	4.24%
フランス	4.00%
ドイツ	3.89%

■組入上位5通貨

通貨	比率
円	65.08%
米ドル	15.95%
ユーロ	10.33%
ポンド	3.17%
加ドル	1.51%

・上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【募集代理店】

株式会社新生銀行

〒100-8501 東京都千代田区千代田2-1-8
 新生銀行ホームページ <http://www.shinseibank.com>
 新生パワーコール / (0120) 456-860

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07)終身D3型

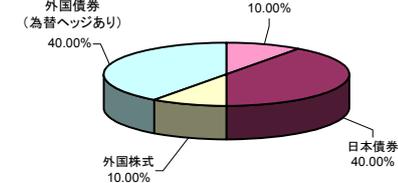
特別勘定の四半期運用実績レポート(2010年1月~2010年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ステート・ストリート4資産バランス20VA<適格機関投資家限定>の運用状況 [2010年3月末日現在]

■ファンドの特色

【基本配分比率】



当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。

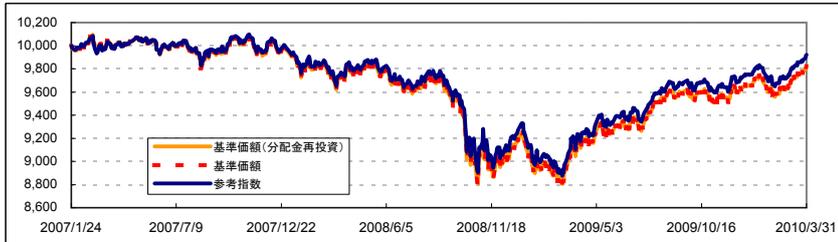
当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券: 「TOPIX(東証株価指数配当込み)」
 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券: 「NOMURA-BPI総合指数」
 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券: 「MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)」
 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券: 「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」*

*当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」となります。

■基準価額の推移

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、ステート・ストリート4資産バランス20VA<適格機関投資家限定>の設定日(2007年1月24日)を10,000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.2625%程度(税抜0.25%程度))控除後の値です。
- 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- 参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)10%、NOMURA-BPI総合指数40%、MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)10%、およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)40%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2010年3月31日	前月末	前月末比
基準価額	9,819 円	9,620 円	199 円
純資産総額(百万円)	14,585	14,447	138

	基準価額	日付
設定来高値	10,095 円	2007年2月27日
設定来安値	8,804 円	2009年3月10日

■資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	10.00%	10.46%
日本債券	40.00%	39.52%
外国株式	10.00%	10.37%
外国債券(為替ヘッジあり)	40.00%	40.69%
短期金融資産	0.00%	▲1.04%
合計	100.00%	100.00%

- ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.07%	1.72%	2.35%	8.58%	▲1.76%	▲1.80%
参考指数	2.14%	1.79%	2.52%	8.97%	▲0.70%	▲0.78%
差	▲0.07%	▲0.08%	▲0.18%	▲0.39%	▲1.06%	▲1.02%

- ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。
- また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

- 下記比率は、純資産総額に対する国別及び通貨別の比率となります。

■組入上位5カ国

国名	比率
日本	49.99%
アメリカ	20.02%
イタリア	4.68%
ドイツ	4.64%
フランス	4.55%

■組入上位5通貨

通貨	比率
円	90.66%
米ドル	5.06%
ユーロ	1.66%
ポンド	1.08%
加ドル	0.54%

- 上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

【募集代理店】

株式会社新生銀行

〒100-8501 東京都千代田区内幸町2-1-8
 新生銀行ホームページ <http://www.shinseibank.com>
 新生パワーコール / (0120) 456-860

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 終身D3型

特別勘定の四半期運用実績レポート(2010年1月~2010年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型」のリスク及び諸費用についてを8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

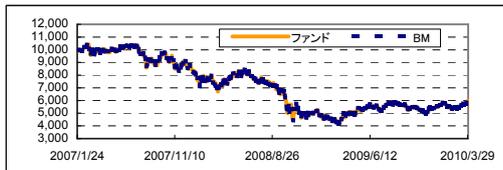
各マザーファンドの運用状況 [2010年3月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク(BM): TOPIX(東証株価指数配当込み)
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 237,190 百万円



・2007年1月24日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	10.41%	8.83%	8.57%	28.44%	▲39.64%	▲40.19%
ベンチマーク	10.41%	8.81%	8.51%	28.47%	▲39.72%	▲40.23%
差	0.00%	0.02%	0.06%	▲0.03%	0.07%	0.04%

・設定以来の騰落率は、2007年1月24日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,674 銘柄

順位	銘柄	業種	ファンド	BM
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.79%	3.95%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.71%	2.83%
3	本田技研工業	輸送用機器	2.07%	2.16%
4	キヤノン	電気機器	1.98%	2.06%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.71%	1.78%
6	三菱商事	卸売業	1.42%	1.48%
7	ソニー	電気機器	1.41%	1.47%
8	任天堂	その他製品	1.30%	1.37%
9	日本電信電話	情報・通信業	1.21%	1.26%
10	武田薬品工業	医薬品	1.19%	1.24%
合計			18.79%	19.61%

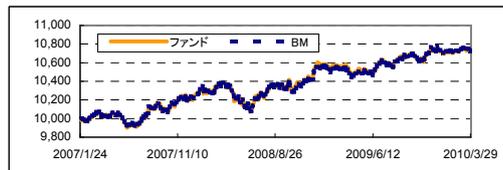
組入上位10業種

順位	業種	ファンド	BM	差
1	電気機器	14.63%	15.25%	▲0.62%
2	輸送用機器	9.52%	9.93%	▲0.41%
3	銀行業	9.32%	9.73%	▲0.40%
4	化学	5.67%	5.91%	▲0.24%
5	情報・通信業	5.08%	5.30%	▲0.22%
6	卸売業	5.01%	5.22%	▲0.21%
7	電気・ガス業	4.73%	4.94%	▲0.20%
8	機械	4.51%	4.70%	▲0.19%
9	医薬品	3.83%	4.00%	▲0.16%
10	陸運業	3.60%	3.75%	▲0.16%
合計		65.90%	68.73%	▲2.83%

ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク(BM): NOMURA-BPI総合指数
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 351,562 百万円



・2007年1月24日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲0.20%	▲0.10%	0.42%	1.69%	6.83%	7.20%
ベンチマーク	▲0.18%	▲0.07%	0.49%	2.04%	6.89%	7.30%
差	▲0.01%	▲0.03%	▲0.07%	▲0.35%	▲0.06%	▲0.09%

・設定以来の騰落率は、2007年1月24日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,163 銘柄

順位	銘柄	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	第232回利付国債	1.200%	2011年6月20日	1.73%	0.27%
2	第259回利付国債	1.500%	2014年3月20日	1.48%	0.63%
3	第229回利付国債	1.400%	2011年3月21日	1.08%	0.00%
4	第288回利付国債	1.700%	2017年9月20日	1.08%	0.98%
5	第240回利付国債	1.300%	2012年6月20日	1.02%	0.59%
6	第237回利付国債	1.500%	2012年3月20日	1.02%	0.57%
7	第75回利付国債	1.100%	2013年9月20日	1.02%	0.32%
8	第87回利付国債	0.500%	2014年12月20日	1.00%	1.22%
9	第285回利付国債	1.700%	2017年3月20日	0.99%	1.00%
10	第234回利付国債	1.400%	2011年9月20日	0.93%	0.82%
合計				11.35%	6.41%

・「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

債券種別資産構成比率

	ファンド	BM	差
国債	78.18%	74.17%	4.01%
地方債	6.55%	6.98%	▲0.43%
政府保証債	5.24%	5.13%	0.11%
金融債	1.87%	1.84%	0.04%
事業債	9.63%	9.76%	▲0.13%
円建外債	0.17%	0.79%	▲0.62%
MBS債	0.30%	1.34%	▲1.03%
コール・その他	▲1.95%	0.00%	▲1.95%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

・資産担保証券(ABS)は事業債に含まれています。

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	0.89%	0.91%	▲0.02%
平均クーポン	1.53%	1.55%	▲0.02%
平均残存期間	7.46	7.38	0.08
修正デュレーション	6.52	6.48	0.04

・「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【募集代理店】

株式会社新生銀行

〒100-8501 東京都千代田区内幸町2-1-8

新生銀行ホームページ <http://www.shinseibank.com>
新生パワーコール / (0120) 456-860

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 終身D3型 特別勘定の四半期運用実績レポート (2010年1月~2010年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

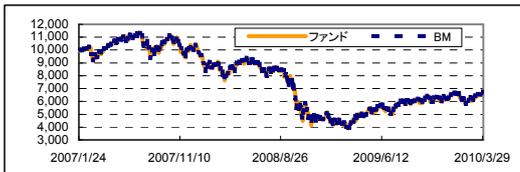
各マザーファンドの運用状況 [2010年3月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド

※ ベンチマーク (BM) : MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 347,483 百万円



・2007年1月24日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	11.46%	3.32%	10.97%	49.61%	▲31.63%	▲32.68%
ベンチマーク	11.52%	3.39%	11.08%	50.04%	▲31.17%	▲32.15%
差	▲0.06%	▲0.07%	▲0.12%	▲0.44%	▲0.46%	▲0.53%

・設定以来の騰落率は、2007年1月24日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,305 銘柄

順位	銘柄	国名	業種	ファンド	BM
1	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.52%	1.59%
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.13%	1.19%
3	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.01%	1.06%
4	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.93%	0.97%
5	PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.89%	0.93%
6	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.85%	0.89%
7	BP PLC	イギリス	エネルギー	0.84%	0.88%
8	BANK OF AMERICA CORP	アメリカ	各種金融	0.84%	0.88%
9	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	0.84%	0.88%
10	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	各種金融	0.84%	0.88%
合計				9.70%	10.13%

・ベンチマーク (BM) の比率は2010年3月30日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

組入上位10業種

順位	業種	ファンド	BM
1	エネルギー	10.99%	11.48%
2	銀行	8.82%	9.16%
3	資本財	7.18%	7.49%
4	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.16%	7.48%
5	素材	7.07%	7.35%
6	食品・飲料・タバコ	5.90%	6.16%
7	各種金融	5.70%	5.94%
8	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.32%	5.56%
9	ソフトウェア・サービス	4.47%	4.67%
10	保険	4.18%	4.36%
合計		66.79%	69.67%

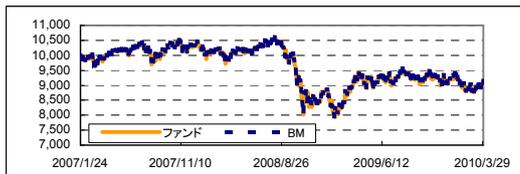
組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	52.55%	54.92%
2	イギリス	10.21%	10.66%
3	カナダ	5.32%	5.56%
4	フランス	5.17%	5.41%
5	オーストラリア	4.39%	4.46%
6	スイス	3.82%	3.99%
7	ドイツ	3.79%	3.96%
8	スペイン	1.90%	1.98%
9	イタリア	1.59%	1.66%
10	スウェーデン	1.35%	1.41%
合計		90.09%	93.99%

ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド

※ ベンチマーク (BM) : シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 655,858 百万円



・2007年1月24日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	3.78%	▲1.09%	▲0.49%	0.08%	▲7.75%	▲8.80%
ベンチマーク	3.74%	▲1.12%	▲0.41%	0.13%	▲7.53%	▲8.57%
差	0.04%	0.03%	▲0.08%	▲0.05%	▲0.22%	▲0.23%

・設定以来の騰落率は、2007年1月24日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 432 銘柄

順位	銘柄	通貨	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	アメリカ国債	米ドル	3.625%	2019年8月15日	0.79%	0.57%
2	アメリカ国債	米ドル	1.000%	2011年10月31日	0.79%	0.41%
3	アメリカ国債	米ドル	4.125%	2012年8月31日	0.76%	0.12%
4	アメリカ国債	米ドル	0.875%	2011年4月30日	0.73%	0.35%
5	アメリカ国債	米ドル	2.625%	2014年12月31日	0.72%	0.39%
6	アメリカ国債	米ドル	1.000%	2011年8月31日	0.71%	0.39%
7	アメリカ国債	米ドル	4.875%	2012年6月30日	0.71%	0.10%
8	アメリカ国債	米ドル	2.750%	2019年2月15日	0.70%	0.48%
9	ドイツ国債	ユーロ	3.500%	2011年10月14日	0.68%	0.22%
10	ドイツ国債	ユーロ	4.250%	2014年1月4日	0.63%	0.33%
合計					7.21%	3.35%

・「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。
・ベンチマーク (BM) の比率は2010年3月30日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	35.81%	35.93%
2	イタリア	11.10%	11.12%
3	ドイツ	10.45%	10.48%
4	フランス	9.87%	9.90%
5	イギリス	7.18%	7.17%
6	スペイン	4.72%	4.74%
7	ベルギー	3.00%	2.98%
8	カナダ	2.87%	2.88%
9	オランダ	2.57%	2.55%
10	ギリシャ	2.42%	2.42%
合計		89.99%	90.18%

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	2.70%	2.69%	0.01%
平均クーポン	4.21%	3.92%	0.29%
平均残存期間	8.02	7.98	0.04
修正デュレーション	5.82	5.81	0.00

・「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。
・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
・上記の属性は2010年3月30日時点のものです。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【募集代理店】

株式会社新生銀行

〒100-8501 東京都千代田区内幸町2-1-8
新生銀行ホームページ <http://www.shinseibank.com>
新生パワーコール / (0120) 456-860

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 終身D3型のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

- ・この保険は、積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- ・特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行っており、株式および公社債等の価格変動と為替変動等にもなる投資リスクがあります。
- ・特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- ・運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額等が一時払保険料を下回る場合があります。
- ・特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、アクサ生命、アクサ生命の募集代理店および第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

- この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。一般勘定で運用する年金をご選択の場合、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用	一時払保険料に対して 5.0% 特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

【積立期間中および保証金額付特別勘定年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.55% 積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定の運用に必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.2625%程度(税抜0.25%程度)* 特別勘定にて利用する投資信託における純資産額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

- * 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することになります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

【一般勘定で運用する年金の支払期間中】

※一般勘定で運用する年金とは、保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・確定年金・一時金付終身年金を意味します。(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます。)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して1.0%* 年金支払日に責任準備金から控除します。

- * 年金管理費は、将来変更になる可能性があります。

変額個人年金保険(07)終身D3型「HALFtime+」は現在販売していません。

【募集代理店】

株式会社新生銀行

〒100-8501 東京都千代田区内幸町2-1-8
新生銀行ホームページ <http://www.shinseibank.com>
新生パワーコール / (0120) 456-860

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>